2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　株式会社 ニッチツ　　上場取引所　東
コード番号　7021　URL https://www.nitchitsu.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 松原　祐生
問合せ先責任者　(役職名) 代表取締役副社長執行役員 管理本部長　(氏名) 艸薙　望　TEL 03-5561-6200

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月7日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	4,765	△0.6	180	20.5	208	31.6	177	87.6
2026年3月期中間期	4,792	1.7	149	△0.9	158	32.4	94	△55.2

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　1,058百万円　(87.4%)　2026年3月期中間期　564百万円　(135.4%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	90.25	―
2026年3月期中間期	48.16	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	18,652	13,276	71.2	6,737.03
2026年3月期	17,191	12,246	71.2	6,233.54

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　13,276百万円　2026年3月期　12,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	17.00	―	18.00	35.00
2027年3月期	―	15.00			
2027年3月期(予想)			―	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	△0.9	290	31.3	300	37.3	220	13.1	111.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	2,130,000 株	2026年3月期	2,130,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	159,268 株	2026年3月期	165,447 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	1,967,208 株	2026年3月期中間期	1,964,736 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2～3ページをご参照ください

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の世界経済は、米国経済が底堅く推移した一方、中国経済は内需を中心に力強さを欠く状況が続きました。一方、日本経済は、物価上昇の影響がみられるものの、個人消費及び設備投資を中心に緩やかな回復基調で推移しました。なお、中東情勢をはじめとする地政学的リスクなどにより、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境については、機械関連事業の舶用機器部門では、国内造船所の手持工事量が引き続き高水準で推移しており、堅調な需要が継続しています。産業機器部門では、重電・製鉄業界の更新投資の需要が継続しております。資源関連事業では、半導体業界において、主力の封止材需要は回復基調にあります。オフィス賃貸においては、都内オフィスビルの平均空室率の低下と賃料の上昇基調が続いております。

このような環境の下、当中間連結会計期間の売上高は4,765百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は180百万円（同20.5%増）、経常利益は208百万円（同31.6%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は177百万円（同87.6%増）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

①機械関連事業

舶用機器部門については、ばら積み船用ハッチカバー・船殻ブロックの売上は堅調に推移しました。産業機器部門については、製鉄機械関連や電力関連、空気予熱機関連で売上を確保しました。一方、工事部門においては、前期の大型工事の剥落により減収となりました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は3,233百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は92百万円（同24.3%増）となりました。

②資源関連事業

ハイシリカ（精製珪石粉等）部門は、主力の半導体封止材用途や光学関連で回復傾向がみられる一方、採算面では減価償却費等の増加に加え、高単価製品の販売減の影響を受けました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は1,027百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は25百万円（同52.8%減）となりました。

③不動産関連事業

賃貸ビルの稼働状況が引き続き順調に推移し、売上高は75百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は26百万円（同13百万円増）となりました。

④素材関連事業

耐熱塗料部門は、国内を中心に設備用塗料のスポット受注や工業用塗料の販売が堅調に推移し、売上高は伸長しました。ライナテックス（高純度天然ゴム）関連部門は、積極的な営業活動が奏功しました。

この結果、素材関連事業全体では、売上高は428百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は36百万円（同28百万円増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債、純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は、18,652百万円となり、前連結会計年度末比1,461百万円増加いたしました。これは、投資有価証券や現金及び預金の増加並びに電子記録債権の減少などによるものであります。

負債合計は5,375百万円となり、前連結会計年度末比430百万円増加いたしました。これは、固定負債その他に含まれる繰延税金負債の増加などによるものであります。

純資産合計は13,276百万円となり、前連結会計年度末比1,030百万円増加いたしました。これは、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加などによるものであります。この結果、自己資本比率は71.2%となりました。

なお、2026年6月定時株主総会で決議いたしました資本金の額の減少等に伴い、資本金が1,000百万円減少し、資本剰余金が1,000百万円増加しております。

（キャッシュ・フローの状況）

現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末の3,343百万円に比べ598百万円増加し、当中間連結会計期間末には3,941百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、913百万円の収入（前中間連結会計期間比15.4％増）となりました。これは、税金等調整前中間純利益203百万円や減価償却費304百万円、売上債権の減少350百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、268百万円の支出（同38.7％減）となりました。これは有形固定資産の取得による支出155百万円や投資有価証券の取得による支出103百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、45百万円の支出（同67.5％減）となりました。これは配当金の支払い38百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月14日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,343,425	3,941,890
受取手形、売掛金及び契約資産	1,506,626	1,423,622
電子記録債権	536,839	269,579
商品及び製品	234,503	220,066
仕掛品	827,576	843,265
原材料及び貯蔵品	299,731	276,600
その他	160,472	184,028
貸倒引当金	△214	△174
流動資産合計	6,908,959	7,158,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,140,712	2,105,729
機械装置及び運搬具（純額）	1,756,884	1,601,238
土地	2,302,680	2,302,680
その他（純額）	124,523	130,433
有形固定資産合計	6,324,801	6,140,082
無形固定資産	42,635	36,455
投資その他の資産		
投資有価証券	3,824,200	5,219,739
その他	92,702	99,164
貸倒引当金	△1,482	△1,482
投資その他の資産合計	3,915,421	5,317,422
固定資産合計	10,282,858	11,493,960
資産合計	17,191,818	18,652,838

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	583,464	631,074
短期借入金	1,126,800	1,126,800
未払法人税等	27,845	20,327
賞与引当金	92,272	92,591
受注損失引当金	39,013	47,479
その他	869,772	834,332
流動負債合計	2,739,167	2,752,604
固定負債		
長期借入金	69,000	50,600
役員退職慰労引当金	10,185	11,475
役員株式給付引当金	80,587	82,451
退職給付に係る負債	592,040	601,462
資産除去債務	44,656	44,720
その他	1,410,063	1,832,648
固定負債合計	2,206,533	2,623,358
負債合計	4,945,701	5,375,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	100,000
資本剰余金	811,257	1,811,257
利益剰余金	8,569,745	8,709,155
自己株式	△287,632	△276,768
株主資本合計	10,193,370	10,343,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,992,982	2,877,263
繰延ヘッジ損益	3,356	1,095
退職給付に係る調整累計額	56,406	54,872
その他の包括利益累計額合計	2,052,746	2,933,231
純資産合計	12,246,116	13,276,875
負債純資産合計	17,191,818	18,652,838

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,792,709	4,765,312
売上原価	4,165,490	4,101,914
売上総利益	627,218	663,397
販売費及び一般管理費	477,249	482,740
営業利益	149,969	180,656
営業外収益		
受取利息	2,240	4,901
受取配当金	48,139	69,007
その他	30,298	37,146
営業外収益合計	80,678	111,055
営業外費用		
支払利息	8,240	11,287
休廃止鉱山管理費	57,728	65,504
その他	5,951	6,054
営業外費用合計	71,919	82,845
経常利益	158,728	208,867
特別利益		
固定資産売却益	2,963	334
特別利益合計	2,963	334
特別損失		
固定資産処分損	45,443	4,496
固定資産圧縮損	－	1,451
特別損失合計	45,443	5,947
税金等調整前中間純利益	116,248	203,253
法人税、住民税及び事業税	20,209	10,537
法人税等調整額	1,424	15,181
法人税等合計	21,633	25,719
中間純利益	94,614	177,534
親会社株主に帰属する中間純利益	94,614	177,534

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	94,614	177,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450,935	884,280
繰延ヘッジ損益	211	△2,261
退職給付に係る調整額	18,678	△1,534
その他の包括利益合計	469,825	880,485
中間包括利益	564,440	1,058,019
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	564,440	1,058,019
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	116,248	203,253
減価償却費	286,748	304,709
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△6,675	1,290
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	10,172	1,863
賞与引当金の増減額（△は減少）	△715	319
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△2,416	8,465
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	309	7,888
受取利息及び受取配当金	△50,379	△73,909
支払利息	8,240	11,287
有形固定資産売却損益（△は益）	△2,963	△334
有形固定資産処分損益（△は益）	45,443	4,496
売上債権の増減額（△は増加）	221,617	350,264
棚卸資産の増減額（△は増加）	168,180	21,879
未収入金の増減額（△は増加）	159,343	49,539
前払費用の増減額（△は増加）	△72,335	△63,308
仕入債務の増減額（△は減少）	△19,741	47,609
その他	△76,244	△1,404
小計	784,831	873,909
利息及び配当金の受取額	51,179	74,709
利息の支払額	△8,196	△11,008
法人税等の支払額	△36,821	△24,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	790,993	913,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,356	△103,864
有形固定資産の取得による支出	△431,837	△155,951
有形固定資産の売却による収入	3,110	2,528
無形固定資産の取得による支出	△5,115	△4,459
その他	△1,864	△7,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439,063	△268,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△80,000	－
長期借入金の返済による支出	△18,400	△18,400
自己株式の取得による支出	△56	△185
自己株式の処分による収入	－	11,049
配当金の支払額	△42,174	△38,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,631	△45,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△69
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	211,294	598,465
現金及び現金同等物の期首残高	2,670,656	3,343,425
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,881,950	3,941,890

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年６月26日開催の株主総会の決議に基づき、2026年８月４日付で減資の効力が発生いたしました。

これにより、資本金が1,000,000千円減少し、この減少額全額をその他資本剰余金へ振り替えております。

その結果、当中間連結会計期間末において、資本金が100,000千円、資本剰余金が1,811,257千円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	機械関連事業	資源関連事業	不動産関連事業	素材関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,372,051	960,927	70,235	389,494	4,792,709	－	4,792,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,713	－	－	20,472	37,185	△37,185	－
計	3,388,764	960,927	70,235	409,967	4,829,894	△37,185	4,792,709
セグメント利益	74,396	53,002	13,415	7,735	148,550	1,418	149,969

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去4,800千円、全社費用△3,381千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	機械関連事業	資源関連事業	不動産関連事業	素材関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,233,105	1,027,745	75,869	428,592	4,765,312	－	4,765,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,320	－	－	12,193	22,514	△22,514	－
計	3,243,426	1,027,745	75,869	440,786	4,787,826	△22,514	4,765,312
セグメント利益	92,475	25,008	26,891	36,453	180,827	△171	180,656

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去5,309千円、全社費用△5,481千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。